

“どんなに重い障害があっても地域で共に生きる社会”を目指して！

静岡障害者自立生活センター



発行 静岡障害者自立生活センター(NPO 法人 ひまわり事業団)
〒422-8006 静岡市駿河区曲金5-4-58
TEL:054-270-6380 FAX:054-287-4922
E-mail: syoujiki@scil.jp ホームページ: <http://www.scil.jp>

特定非営利活動法人 ひまわり事業団 理事長 村松 雅也

5月23日に開催されました、当法人理事会の総意を得て、理事長の職を引き継ぐことになりました村松雅也です。

当法人は、静岡障害者自立生活センターを母体として、40年余り静岡市小鹿・曲金地区を中心に「共に生きる社会を目指して」という理念を掲げ活動を展開してきました。

ひとりでも多くの障害を持った方々が、地域で暮らすことができるよう、より一層頑張っていきたいと思います。また、地域にとって必要とされる団体になれるよう、一步一步着実に取り組んでいきたいと思っています。

これからも皆さんに助けて頂く事ばかりだと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

介助派遣サービスひだまり 管理者・GM(ジェネラルマネージャー)宇佐美 拓也

6月1日より介助派遣サービスひだまりの管理者をやらせて頂くことになりました。よろしくお願いいたします。

私は自立生活を始めて8年になります。自立生活センター(ひまわり事業団)で活動し始めて4月で11年目になりました。管理者ではありますが私自身もひだまりの利用者です。

ひだまりの介助派遣は「自己選択・自己決定・自己責任」というのを大事にしています。生活のスタイルは利用者一人ひとり違いますので、ヘルパーの皆さんが迷う事や不安があると思いますが、利用者も同じように全てにおいて指示を出すということが完璧ではありません。個人のペースでやり方が違います。ヘルパーの皆さんはどのようにしたらよいか、利用者に寄り添えるかを考えて、利用者はどのようにして欲しいかというのをヘルパーに伝えることで、お互いがコミュニケーションをして楽しく生活できればよいと思います。

はしもと
橋本コラム

紫陽花が咲き始めた。以前水落に住んでいた頃に音羽町の紫陽花の花の深い藍色を思い出す。夕暮れ時夕焼けのオレンジに花が浮かんでほんとに綺麗だった。紫陽花というのはリマス試験紙のように土のPH(ペーハー)で色が変わると聞いた。中田の土はややアルカリ性なのか、あまり藍色の花は見ない。

今年の春は3月11日を過ぎててもなかなか温かくならなかった。6年前に東日本大震災で原発事故を目の当たりにして、原発は間違ってるよなあ、との思いがある。原子力の平和利用だと学校で習ったものだが嘘を教えられたようだ。福島事故を見て台湾ではあの事故を教訓に原発を停止にした。彼の国が教訓にしたものをこの国は懲りもせずに再稼動に突き進んでいる、これも<首相のご意向かな>。しかし、あの時に原発がなかったら6年経っても放射線から非難していたり避難者の子供がいじめを受けたりという悲劇は防げたはずだ。地震津波による被害は天災、原発事故による災害は人災、この二つは明確に分けて考えるべきだ。



くしくも6月には静岡県の知事選が控えている。残念に思うのは浜岡原発をどうするのかの政策論議がないことだ。東海地方は地震がいつ来てもおかしくはない。浜岡原発の下には活断層があるとの指摘もある。やはり県知事になるなら観光より先に公約にしなきゃ、せつかくの選挙権が有効に行使できないじゃん。

【連載2】石橋稔の黙って俺の話聞いて！

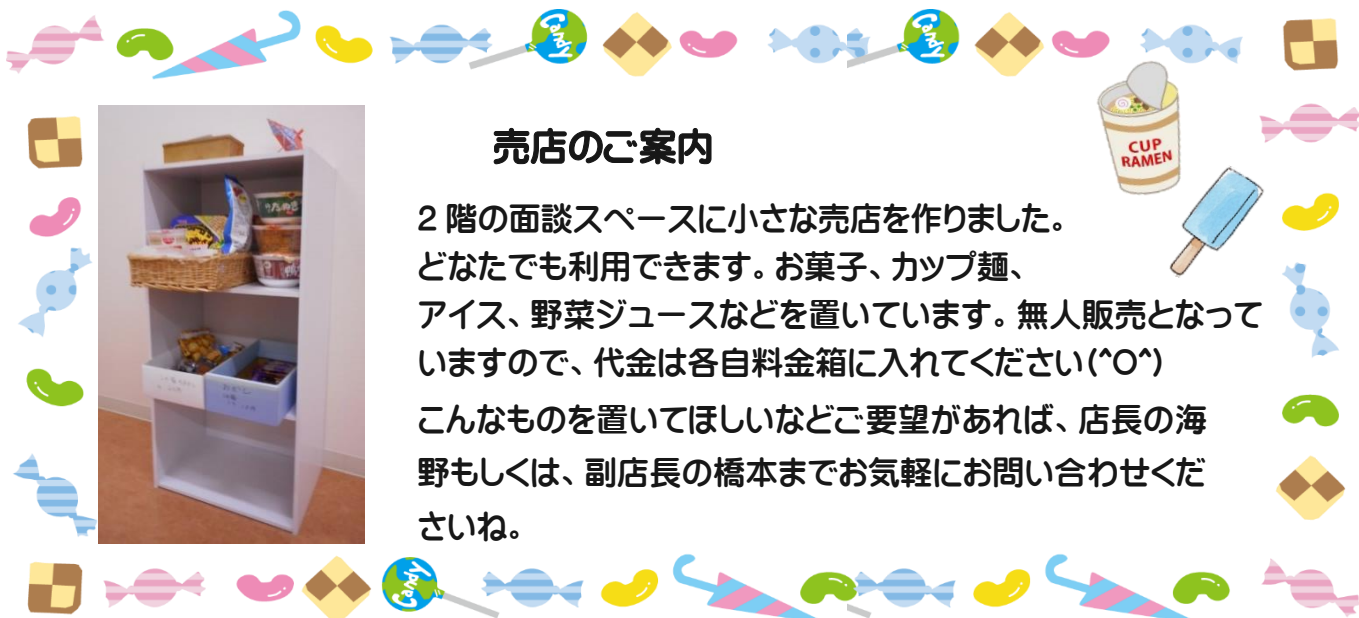
僕らのピアカン

石橋 稔

僕も昔、ピアカン講座を受けた事がありますが、堅苦しくて合わなくて、自立生活センターの中でやっている言語障害のある人のピアカンは自由にやっています。コーヒーを飲んでやっています。

思いを100%も言えずに過しているのが大変です。文字盤でやれば時間がかかるし、手に字を書いても分かる人が少なくて生きてくのは大変だよ…本当みんな強いよ

文字盤を打つ時ショットでもいいから声を出してやろうとしたら声が出るようになって分かりやすくなりました。僕ら毎週月曜日に1日かけてやっている言語障害がある人のピアカンは大事だよ。些細な事でも人に話したいと僕は思うけど違うかな？



売店のご案内

2階の面談スペースに小さな売店を作りました。どなたでも利用できます。お菓子、カップ麺、アイス、野菜ジュースなどを置いています。無人販売となっていますので、代金は各自料金箱に入れてください(^o^)
こんなものを置いてほしいなどご要望があれば、店長の海野もしくは、副店長の橋本までお気軽にお問い合わせくださいね。

